

アンネの日記

◎原作=アンネ・フランク

◎脚色=フランセス・グッドリッチ/アルバート・ハケット

◎訳・演出=丹野郁弓

ANNE FRANK

ものがたり

1942年夏。オランダに住むアンネ一家は、アムステルダムのある屋根裏部屋に隠れました。街ではナチスのユダヤ人狩りが猛威をふるっています。昼間は声も立てられず、水も使えず、深刻な食料不足。そんな中でも明るくのびのびと振る舞うアンネは、しばしば母や同居人たちと衝突します。でも少年ベーターとだけは心が通いあい、ほのかな愛情が芽生えます。

絶望の淵に連合軍が上陸したというニュース！ 解放の日は近い。だが、2年目の夏の午後、階下で不気味な電話が鳴りつづけるのでした……。



私、信じてるの、周りは悲しい事だらけだけど、それでも人の心の中は絶対に素晴らしいのだと。

アンネ・フランク



私は高度成長期時代に生まれた。戦争体験は無い。戦争の悲惨を語ることに、それに耳を傾けたい。どちらも大きな意義のある行為だ。しかしそこで終わらせることなく、戦争体験の無い者がさらに戦争の悲惨を語り始めた時初めて、それは「語り継がれる」ことになるのだ。これまで多くの賞を得てきた「アンネの日記」をここで新たに演出しようとするのは、私にとっては非常に勇気のいることだった。しかし、語り継がなくてはならない、という責任感にかられた時に、この作品を演出しようという決意は定まっていたように思う。そしてそのことが同時に、あの時代を生きた彼らに先達へのオマージュにもならなければならないことを訴えている。

演出◎丹野郁弓

2001年8月2日(木) 福井市文化会館

午後6時30分開演(午後6時開場)

■入場料(全席指定).....S席=4,500円(当日5,000円) A席=3,500円(当日4,000円)

学生券=1,000円(A席のみ・学生証提示・当日発売)

■前売開始.....フォーラムメイト先行▶6月4日(月)、一般▶6月7日(木)

■チケットのお求めは.....ピア、ベル、パリオ、勝木書店本店、

福井市文化会館事務所(福祉会館1F)、福井芸術・文化フォーラム事務所(文化会館1F)

■主催・お問い合わせ.....福井芸術・文化フォーラム Tel.0776-23-6905(月~金10:00~18:00) 福井市春山2-7-1 福井市文化会館内

■後援.....福井市教育委員会、福井新聞社、FBC福井放送